

いきいき茨城ゆめ大会へ向けた茨城県作業療法士会の取り組み

茨城県作業療法士会 理事
荒井 裕久
(所属：水戸赤十字病院)



茨城県作業療法士会 理事
柘植 哲洋
(所属：つくばセントラル病院)



いきいき茨城ゆめ国体・大会まで約 1 年となり、会員の皆様も県内の至る所でこちらの案内を目にしている事かと思えます。



現在、当士会としましても茨城県よりいきいき茨城ゆめ大会（障がい者スポーツ大会）への協力依頼を受け、各団体と共に準備を進めております。

実施内容につきましては、①競技者の障害区分判定の実施②大会中のコンディショニンググループの運営となっております。①に関しましては、当士会より 4 名の担当者を選任し障害区分判定の研修会に参加し、次年度の大会に向け練習会への見学等を行っております。②に関しまして、本年度の福井しあわせ元気大会のコンディショニンググループの視察を行い、次年度の大会運営に向けてどのような準備が必要なのかを検討していく予定となっております。

また、いきいき茨城ゆめ大会期間中は、フライングディスク（水戸：ケースデンキスタジアム水戸）・精神障害者バレーボール（ひたちなか市：松戸体育館）・知的障害者バレーボール（結城市：かなくぼ総合体育館）3 会場の担当となりました。平成 31 年 10 月 11 日（金）～14 日（月）に各会場 1 日 5 名のスタッフの配置を予定しております（11 日金曜日は公式練習日となっております）。

県士会ホームページ等でもコンディショニンググループへの協力についてお知らせさせていただいておりますが、選手の皆をサポートできるよう、多くの会員のご協力が必要です。

約半世紀に 1 度の茨城県での開催になりますので、会員の皆様と共にいきいき茨城ゆめ大会の成功に向け取り組んでいきたいと考えております。何卒ご協力の程よろしくお願いいたします。

※県士会HPにコンディショニンググループスタッフ募集の案内がありますので、ぜひご確認ください※

<アキュラシー>



投げるディスクの正確性を競います。5mもしくは7m離れた所から直径91.5 cmのゴールへ10回投げ通過した回数を競います。

<ディスタンス>



投げるディスクの飛距離を競います。3投し、最も遠い着地点が記録となります。

フライングディスクの練習風景（練習会場：県立あすなろの郷）